

<最近の修了・卒業研究>

修士	
2001	下限界応力拡大係数範囲の消失に関する実験的研究
2004	遺伝的アルゴリズムを用いた最大応力拡大係数（K値）増による下限界K値範囲漸減量の定量予測

学士	
1999	ΔK制御疲労き裂進展試験システムの開発
	熱応力下疲労き裂停留現象に関する実験的研究
	板表面き裂の感度解析に関する研究
	有限要素解析誤差評価に関する研究
	コンプライアンス理論に基づく三次元構造体中表面き裂の応力拡大係数簡易評価式の導出
2000	マルチOS-パラレルコンピューティング対応分子動力学解析ツール及びポストプロセッサの開発
	有限円筒環状き裂のJ積分に関する基礎的研究
	高速疲労試験機の開発
2001	パラレルコンピューティングによる分子動力学解析の高速化
	分子動力学解析による金属の引張シミュレーション
2002	下限界近傍疲労き裂進展シミュレーション～ $\Delta K_{th}$ 漸減メカニズムモデルの検証～
	遷移領域用クリープ疲労試験機の開発
	e-レポートシステムの試作
	軸対称荷重下有限円筒複数環状き裂の応力拡大係数簡易評価
2003	応力拡大係数（K値）誤差指標を活用した三次元き裂有限要素解析システムの開発
	クリップゲージ法によるき裂長さ計測誤差に関する研究
	電気ポテンシャル法によるき裂長さ計測誤差に関する研究

学士	
2004	物性値の温度依存性が熱応力に及ぼす影響の検討
	インコネル718の最大応力拡大係数一定下疲労き裂進展特性の検討
	下限界応力拡大係数範囲の結晶粒径依存性シミュレーションの検討
	下限界応力拡大係数範囲に及ぼす環境効果の検討（S55Cの場合）
	イオンエッチング法による破面上結晶粒界同定法の開発
	一般要素を用いた有限要素解析による応力拡大係数誤差評価指標（評価手順の一般化）
	S55Cの下限界応力拡大係数範囲の結晶粒径依存性の検討
	腐食法による破面上結晶粒界同定法の検討
	下限界応力拡大係数範囲に及ぼす環境効果の検討（S55Cの場合）
	減肉配管の減肉形状オンライン推定方法の開発